

【発行元】

岐阜県福祉のまちづくり推進協議会
〒501-3246
関市緑ヶ丘2-5-78
TEL : 0120-337-301
FAX : 0575-24-5733

月刊 あったかいご通信

月刊「あったかいご通信」を発行する土地活用研究会は、地域密着の建設会社が福祉施設の開業をサポートする全国50社の国内最大級のネットワークです。毎月、業界の最新情報や成功事例をお届けします。業界全般の最新情報や経営のコツ、利用者募集や人材マネジメントなどリクエストも大歓迎です！

※記事引用・厚生労働省・国土交通省・㈱官公通信社・高齢者住宅新聞社・福祉新聞・日本経済新聞 他

すきま時間で働きませんか 福祉事業所とのマッチングサービス



(株) プラスロボ (鈴木亮平社長) は2月21日、**すきま時間を使って福祉事業所で働きたい人と、介護業務以外の簡単な仕事を頼みたい福祉事業所とをマッチングするサービス「Sketter」**(スケッター) をリリース。福祉領域に特化したスキルシェアサービスは国内初。3年間で3万人の個人と、1000カ所の福祉事業所の登録を目指す。

スキルシェアサービスは、インターネットを通じて、個人が自らの知識や技能を売買するサービス。既にプログラミングやデザイン、家事など様々なジャンルに特化したサービスがある。市場規模は300億円を超える。政府の働き方改革も背景に、近年ますます注目されている。

スケッターは、福祉事業者がウェブサイト内に清掃や配膳、資料作成といった仕事内容と日時、報酬を投稿。これを見た個人のユーザーが応募し、福祉事業者が受け入れればマッチングが成立する。

「報酬なし」と設定すればボランティアを集めることもできる。

福祉事業者にとっては、スケッターを利用することで現場職員が専門的な業務に集中できるメリットがある。業務終了後はお互いが評価するシステムとなっており、信頼度を可視化してサービス向上につなげる。

ユーザーのサービス利用料は無料。一方、福祉事業者は当面2人受け入れるまで登録料は無料で、3人目からは月1万円かかる。鈴木社長は福祉とテクノロジーを掛け合わせ、社会課題の解決につなげたいとスケッターを立ち上げた。「個人にとっても現場を見るハードルが下がり、そのまま就職につながるケースもあるのではないかと。また、学校や社会福祉協議会などと連携することで、地域の活性化にもつなげたい」と話す。

昨年8月にインターネットで資金を集めるクラウドファンディングを実施したところ反響が大きく、最終的には157万円を集めた。事前のテストでは、応募したユーザーの7割が20代以下で、女性が8割。約6割が福祉施設で働いた経験がなかった。今後、同社はウェブ広告を出すことでユーザーを集める考えだ。

ぜひ、ご興味ある事業者は、2人受け入れまでは登録料が無料なので、利用してみたいかがだろうか。